

第4号

2023年3月20日

みんなの未来きこう



発行: 特定非営利活動法人全員参加による地域未来創造機構
発行責任: 半澤彰浩

2022年度の講座・研修が終了しました。たすけあい・支えあいの地域づくりに向けて、心に残る多くの出会いと発見がありました。2023年度も開講します!

さがみエリア「地域を豊かにするリーダー講座」



綾瀬市「がじゅまる食堂」にて

湘南エリア「地域を豊かにする市民基礎講座」



「みんなの居場所よこすか み～なの家」にて

キャリアアップ講座 来年も開催します!
(ZOOM併用) 詳細はホームページで!

日程一時間はいずれも10:00~12:00 会場—オルタナティブ生活館

- ①4月25日(火)メンタルヘルスについて
- ②5月31日(水)発達障害とは
- ③6月27日(火)やさしさを伝えるコミュニケーション
- ④7月19日(水)傾聴講座
- ⑤7月26日(水)傾聴講座
- ⑥9月14日(木)ハラスメントの知識
- ⑦10月12日(木)コーチング講座
- ⑧11月23日(木)コーチングの具体的スキル
- ⑨12月14日(木)アンガーマネジメントとは
- ⑩2月(日程未定)介護過程



申込はこちら

(特非) 全員参加による
地域未来創造機構
(略称: 未来機構)

〒222-0033横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F
Tel:045-534-7131 fax:045-534-7151 e-mail:minnano@miraikikou.org

<https://www.minnanomiraikikou.org/>

市民基礎講座・リーダー講座を受講した方々に聞きました！

2022年度、横浜、川崎、相模大野、海老名、大船で実施した「市民基礎講座」「リーダー講座」が終了しました。受講された方はのべ63人。その何人かの方々にインタビューしたり、受講後の感想を寄せていただきました。地域を市民の力で豊かなものにしていくことをめざして、今後の活動への一歩や、地域での事業・活動につながる確かな実感を得られたことがうかがわれます。

「市民基礎講座」(横浜)受講者に聞きました

講座に参加してイメージが具体的に

「地域の食堂」をやってみたいという気持ちがあり参加しましたが、非常に良かったです。特に参考になったのは既に地域の居場所を实践されている方の具体的なお話です。また、参加者の皆さんとのグループワークの中で「誰とやるか」「自分が楽しくできるか」「地域とつながれるか」という、居場所を始めるために大事な3つの視点に気付いたことも私にとっては収穫でした。講座終了後に個別の相談会にも参加し、丁寧に話を聞いてもらえました。

漠然とイメージしていたことが講座に参加することで具体的に、これから自分が活動を始める上での指針ができました。何か始めたいな、とふんわり考えている方にもぜひおすすめしたいです。

(取材:大池玲奈)



「市民基礎講座」(川崎)受講者に聞きました



「自分事」としての気づき、一歩踏み出してみたら・・・

地域を豊かにする活動を実践している方からお話を伺い、自分の周りの地域課題を自分事として捉え、その解決に向けて行動している素敵な方々の姿にただただ賞賛の念を禁じえません。同時に翻って自分のことを考えてみる機会となりました。周りのお困りごと(=地域課題)を認識できているのか、生活クラブ理事であるがその前に(それと同時に?)地域に住み暮らす一市民として生きているのか。他の受講者との意見交換でも、仕事として、役割として地域活動に関わっているが、一市民として自分事としてはどうなのか考えさせられました。丁度友人から声をかけてもらった寺子屋(子どもの居場所)に関わることが心地よく感じられ、“一歩踏み出せば景色が変わる”ってこれなのではないでしょうか。(取材:野村美湖)

ワーカーズ・コレクティブから参加した受講者に聞きました

ワーカーズ・コレクティブの活動・事業にも活かせる講座

様々な業種のワーカーズ・コレクティブ(W.Co)から参加があり、事例を伺ったり実際にフィールドワークに参加することで神奈川の中で多様な活動をしている方々が沢山いらしてとても心強く思ったこと、運動グループの中にも多彩な活動がされていて、これまで知らなかったことへの理解が深まったという感想が聞かれました。

特に、自分たちの暮らすまちを知るための地域アセスメントの必要性や、地域包括支援センターの役割など多種多様な地域資源があることは、これからも学ぶことで自らの生活や課題解決に生かしていきたいとの声が多くありました。

さらに、傾聴講座や藤沢の社会福祉協議会の生活困難者の方々への向き合い方は、W.Coの事業にも大変役立つ講義との声もありました。(取材:木村満里子)



受講した方々からの声

リーダー講座(海老名)受講しました

自分でも不思議な感覚にとらわれています

全5回の講義が終了した今、現在自分の属している場所だけでなく、新しいつながりを求めて外へ出ていきたいという気持ちが湧いてきて、最近誕生したばかりの地域で初めてのケアラーズカフェに親子で伺ってみたり、子供の小学校では誘われていた(でも迷ってお断りしようかと考えていた)PTA本部役員を引き受ける決心をしたり、自分でも不思議な感覚にとらわれています。

講師の方々のお話は、地域社会の中でつながりが希薄化したことによりこれまで以上に孤立、貧困、就労困難等の困難な課題をもつ人の存在が浮き彫りになった昨今の社会状況へ目を向けさせてくれました。その人たちと真摯に向き合い、肌感覚で気づいたことを大切に取り組みを続けてきた支援者の皆さんの熱意に圧倒され、人とながつながり関わり合うことで生まれるパワーの凄さも実感しました。そして、私にとっての地域とは誰なのかを考え、関わることで生まれる力を体験してみたいという思いになりました。

(W.CoLavori ムスング真帆)



綾瀬市
「がじゅまる食堂」
にて

市民基礎講座(相模大野)受講しました

地域に住む一人として考え行動する大切さ

年齢や国など関係なく、誰かのやりたい、こうしたいという思いが人を動かしているように感じました。小さな思いから始まって、広がっていく事で繋がりが出来る事を知りました。

地域活動“や” 少子高齢化“について、自分が無意識下で他人事だったと気づきました。私が育ってきた環境や子育ての中で思っていた事を真剣に考え取り組んでいる方たちがいることを知り、組織などでやる大きな事ではなくても、地域に住む一人として考え行動する大切さを知りました。

(社会福祉法人いきいき福祉会 野島美沙)



「みんなの居場所よすかみ~な家にて」



市民基礎講座(大船)受講しました

「居場所」の意味、“ないもの”をつくるということ

居場所の大切さを改めて実感した。共通して学んだ部分として利用する人が身構えず安心して通えること、来た人がやりたいことがあって行える場が居場所になっていると感じた。その中でも本人以外の家族や環境などにも注視して関係性を築いていくことで表面に見える問題だけでなく根源的な部分への思いや理解に繋がると感じた。

新しいことへの挑戦、ないものを作るといった必要に応じて新しいことにチャレンジすることがその後の支援にとって良い方向に進むと学んだ。自分事だけにせず地域なども巻き込み助け合いや支え合いといったお互い様の支援を行えるようにしていかなければいけないと感じた。元々ないものなのだから失敗しても大丈夫、怖がらずに楽しむという言葉聞いて自分自身、今ある環境や社会資源に満足せず色々なことに挑戦して利用者が目指すゴールへの選択肢を広げられるようにしようと感じた。

(社会福祉法人いきいき福祉会 山崎雄平)



座間市入谷東にある私設図書館「まちライブラリー@ざま☆ほしのたに文庫」。2021年5月にオープンし、多世代が気軽に楽しめる居場所をめざしています。この小さな図書館を運営するBook & Art ニワシドリ代表の飯島公子さんに話を聞きました。
(取材: 矢野克子)



「ほしのたに文庫」は、小田急線の座間駅から線路沿いに8分程のところであり歴史を感じる素敵な門構えが目印です。広い敷地の中にある建物の軒下には、子どもたちが自由に絵を描ける大きな黒板が設置されています。

この建物の大家さんが高齢になったお母様のためにバリアフリーに改築され、大家さんと知り合いだった飯島さんの夫を介して借りる事ができたとのこと。

中に入ると、小さい子どもから多世代が楽しめる2000冊以上もの本が壁一面に並び、木のおもちゃ、美術作品も目を楽しませてくれます。



なに描こうかな…



飯島公子さん

「ナナメの関係」が必要

長年、中学校の美術教師をしていた飯島さん。本が好きで常々いつか子どもの文庫を開きたいと思っていたところ、たまたま食事ができるとして入った高齢者施設でまちライブラリーに出会ったのがきっかけという。「子育て中、子どもが大病を患い、退院してから家にこもる生活が続き、行く場がなかった。今の社会は、タテ、ヨコのつながりはあるが、子どもにはナナメの関係づくりができる場が必要」と語る。子どもの居場所や多世代の交流の場にふらっと来られるきっかけになる「本」があるといい。

たくさん並んでいる本は、飯島さんが子育て中に集めた絵本や教師時代に学級文庫に置いていた本、寄付等で集まったとのこと。本の他に小さなお子さんが楽しめるように木製のおもちゃや飯島さん作の木製のパズルなど、どれも興味を唆る遊び道具がたくさん並べられています。それは、日常とはちょっと離れた「癒しの場」でした。



よく訪れるという下池さん親子

広がる活動—大学生・高校生ボランティア団体「かけはし」と居場所づくり・無料学習支援「ほしのこルーム」開設

文庫のつながりから広がる活動

取材に伺ったこの日は、月曜日でご近所のお子さん連れのママが遊びに訪れていました。飯島さんと顔馴染みの様子で和やかな時間が過ぎていました。

「ほしのたに文庫」は、週2日(日、月)の開館。文庫活動の他に、土曜日や長期休暇にはワークショップや小中学生の無料学習支援、発達障害の親の会の茶話会の場としての活用も進めています。子育て支援の講演会や絵本紹介等も推進中。文庫活動をきっかけに地域で様々なつながりができ、活動が広がっています。その一つの取り組み、「巣箱ライブラリー」(巣箱のように小さな図書館)は、今後まちのあちこちに登場する予感がします。

最後に「趣味で週末ゴルフを楽しみに行くように文庫活動を楽しんでいます」という飯島さんの言葉が印象的でした。(やのかつこ)



文庫から外にも広がる活動—「絵本で豊かな子育て講演会」

発行: 2023年3月20日

発行者: (特非) 全員参加による地域未来創造機構(略称: 未来機構)

〒222-0033横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F

Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151 E-mail:minnano@miraikikou.org